

1-(4) 岐阜駅北口駅前広場完成 10 周年記念イベントの開催について

1 岐阜駅北口駅前広場完成 10 年を振り返って

- ・岐阜駅北口駅前広場が完成して、今年で 10 周年を迎えるにあたり、記念イベントを 11 月 16 日（土）に開催する予定
- ・平成 21 年 9 月に完成した駅前広場は、全国有数の広さを誇る面積を活かし、交通結節機能の強化はもとより、にぎわい空間の創出、岐阜らしさのデザインを随所に採り入れ、広場全体に緑を配した「杜の駅」として整備した。
- ・完成を記念して開催した式典では、岐阜市の将来を担う市内の幼稚園児、保育園児等約 1,200 名の皆さんが「杜の架け橋」と「大階段」に並んで大合唱するなど、大変多くの方々が一緒になって、お祝いしていただいた。
- ・駅前広場の完成に先駆けて「岐阜シティ・タワー43」が平成 19 年に完成し、続いて、平成 24 年の「岐阜スカイウイング 37」、そして、今年の 2 月に完成した「岐阜イーストライジング 24」など連鎖的に展開された再開発事業により駅周辺の魅力が向上
- ・歩行者用デッキで駅と街をつなぐことにより、駅周辺の回遊性も向上
- ・駅前広場がにぎわいの発信基地として、中心市街地の発展を牽引
- ・こうした取り組みの結果、民間調査では、駅前広場が完成した 2 年後の平成 23 年には、「駅力ランキング」で、中部圏第 2 位、また今年の「女性の働きたい街」ランキングでは、名古屋の栄を抑えて東海地区で第 4 位、さらに今年の「借りて住みたい街」ランキングでは、名古屋市内の駅を抑えて中部圏で第 1 位にランキングされるなど、高く評価されている。

2 更なるにぎわい創出のために

○金公園にある丸窓電車をリニューアルし、駅前広場に移設

- ・丸窓電車は、大正 15 年に製造され、現在 93 歳
- ・製造から約 80 年間、岐阜市民の足として、市内を中心に運行
- ・大正当時からの電車の技術と歴史を伝える貴重な存在として、平成 18 年から金公園において展示され、今年の 3 月 28 日、岐阜市重要文化財に指定
- ・移設にあたっては、現在、車両の劣化が進んでいるため、金公園において屋根の張替や塗装など改修作業を行っている。
- ・移設先の駅前広場では、かつて岐阜駅前にあった電停や石畳の軌道を当時の面影のまま再現する予定
- ・かつて活躍したチンチン電車の走行を思い起こすような、歴史が体感できるスポットとなり、さらには観光の目玉となることを期待

○**黄金の織田信長公像**について、10年を経過して剥がれた**金箔を補修**

- ・信長公像は、駅前広場完成に合わせて、**岐阜商工会議所**が中心となって、「**信長公の銅像を送る会**」が立ち上げられ、多くの法人や市民からの**寄附**によって建立
- ・10年経過した今でも、**記念撮影をする観光客**は絶えることがない。
- ・金箔の補修は、10月から現地において、作者の田畑功先生監修のもと開始

3 10周年記念イベントの概要

プレイベント：11月4日（月：文化の日の振替休日）

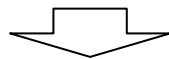
○金公園において、地域の子供たちと共に、**当時の姿に蘇った丸窓電車のお披露目**

メインイベント：11月16日（土）

○岐阜県警など関係者の協力を得て、金公園から駅前広場に向けた**丸窓電車のパレード**

○信長ゆめ広場において、**お色直しを終えた黄金の織田信長公像のお披露目**

- ・10周年記念イベントの開催は、去る7月24日、商工会議所をはじめ、駅前広場に関係する企業や団体を中心に設立された**岐阜駅周辺活性化実行委員会**の計画により行う。
- ・この委員会では、駅前広場の樹木などに装飾する**イルミネーション事業**や高校生や地元の小学生の皆さんに参加を募り、イベントを盛り上げる演奏などの**催し物**を計画している。
→ **官民一体**で、連携してイベントを実施できるものと期待している。



今後も駅前広場が、**県都岐阜市の玄関口**にふさわしいに**ぎわい拠点**となるよう、市民や企業の皆様と一緒に、**更なる魅力の向上**に取り組んでいく。